



浅井 永希：東京シティ・バレエ団

第4回となる「TERRA」。作品の中で生きるエイブとケイン、光と闇、生命の樹、村人、それぞれの役柄の持つ使命を追求しながら、ダンサーと共に今まで歩いて参りました。一つ一つ、役の実見を見つける度、感情が身体を動かし、踊りが生まれ、作品が進化していく。それこそが舞踊表現の魅力であり、国や言葉を越えて伝えることができる舞踊表現の可能性の素晴らしさであります。ご来場くださった皆様へTERRAに込められたメッセージが届きますように。また、令和時代も平和でありますように。

【プロフィール】

1990年 尾寺敏晴、八木ひとみにクラシックバレエを師事。2003年 大阪芸術大学舞台芸術学科舞踊コース入学。堀内充にクラシックバレエ、加藤きよ子にモダンバレエ、山村若に日本舞踊を学ぶ。2007年 大阪芸術大学舞台芸術学科舞踊コース卒業。2008年 東京シティバレエ団に入団。小林洋壺作品「circle of life」、中島伸欣作品「アンブラッセ・ル・タン」にて主演。ジゼル、くるみ割り人形、コッペリア、ウヴェショルツ作品「ベートーベン交響曲第7番」、イリ・ブベニチュク作品「ルール・ブルー」など、他全ての公演に出演する。また、シティバレエサロンにおいて振付家として数々の作品を発表。バレエ評論家吉田裕氏に好評を得る。



庄田 絢香：東京シティ・バレエ団

【プロフィール】

3歳より菊地バレエスタジオでバレエを始め、菊地恭子、竹田光明に師事。カナダ Goh Ballet サマースクールに参加。2014年 東京シティ・バレエ団 入団。以降、「白鳥の湖」、「ジゼル」、「くるみ割り人形」葦笛の踊り、「コッペリア」スワニルダの友人、仕事の踊り、「ヴェートーベン第7交響曲」などを好演。2017年より「くるみ割り人形」クララ役で主演を務め、2018年12月のDance Timesによるダンサー月間ベストテンに選出。2019年7月14日（日）公演予定の『ロミオとジュリエット』～命を賭して求め合う、若い二人の悲しくも美しい恋～にてジュリエット役に抜擢される。



佐々木 美華：バレエスタジオ・マーキュリー代表

地球TERRAの作品としての独自性は、怒り、悲しみ、そして憎しみの感情が湧き起こす言葉では表現できない人間の複雑な心の葛藤を、舞踊表現によって心の根源に訴えかけるものとなっていることです。人間の内から生み出される「心の闇」という存在を演じることで、1人の人間の心情をより鮮明に感じていただけたら幸いです。

本公演に向け、今年1月にBallet Studio Mercuryを立ち上げました。踊りを通じ、心の豊かさを創り出せる場所を目指しており、今回生徒達も自分なりにテーマを深掘りし、表現することに取り組んで参りました。今後も若き世代に地球の尊さを継承できる場所を目指して参りたいと思います。

相 関 図



テラ：武藤 千里



リス：佐々木 美華



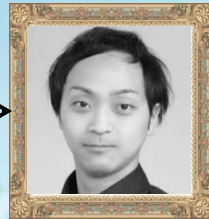
妻：庄田 絢香



ケイン：高井 将伍



賢者：佐世 義寛



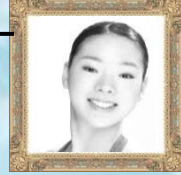
エイブ：三間 貴範



娘：石塚 怜



生命の木：堤 淳



妻：加藤 里咲

<村の人々>



上瀧 達也



志村 まほ



石井 悠和

<村の人々>



酔谷 麻未



リア・チェリカン



リア・グバタ



矢野 晴也



石塚 璃花



ゼバ・カルドン



ミカ・グバタ



木村 柚日

地球
-TERRA-

協力：バレエスタジオ・マーキュリー
主催：株式会社テラス

